

## 折尾駅駅前広場のよくある質問 Q&A

- Q1 どんな駅前広場になるのですか。
- Q2 駅前広場の計画はどのようなプロセスで検討したのですか。
- Q3 改札口は、どこにできますか。
- Q4 昔の折尾駅の改札口は、東口、西口、鷹見口の3カ所にありましたが、新しい改札口は、なぜ1カ所なのですか。
- Q5 なぜ、バス停は、南側駅前広場に集めるのですか。
- Q6 バス停は公共交通機関であるバスの利便性を重視して、改札口に近い北側駅前広場に設置すべきではないですか。
- Q7 鉄道とバスの乗り継ぎは、わかりやすい最短経路にすべきです。バス停は改札口に近い北側駅前広場に設置すべきではないですか。
- Q8 改札口から南側駅前広場のバス停までは、どのようなルートで行けるのですか。
- Q9 バス停から改札口までの距離は何メートルですか。歩いて何分かかりますか。
- Q10 改札口とバス停の間の歩行者通路は、ラッシュ時でも安全に通れますか。
- Q11 バス停を北側駅前広場に集めれば、折尾駅西口バス停は必要ないのではないですか。
- Q12 折尾駅西口バス停でバスが停まれば渋滞するのではないですか。
- Q13 東側方面からのバスは遠回りになるので、北側駅前広場付近にバス停を新設してはどうですか。

Q1 どんない駅前広場になるのですか。

A

【以前の駅前広場の状況】

- 以前の駅前広場は、鹿児島本線の南側にあり、線路に囲まれたアクセスのしにくい場所にありました。そこに、一般車、タクシー、バスが入っていたので大変混雑していました。
- 朝夕のラッシュ時には、駅前広場の混雑を避けて、周辺の道路に路上駐車して送迎する車が多く、渋滞の原因にもなっていました。

【新しい駅前広場の計画】（図-1,図-2）

- 新しい駅前広場は、北側と南側の2箇所に計画しています。
- 駅前広場の混雑をなくすため、一般車およびタクシーとバスの乗降場を分離します。
- バス停は、南側1カ所に集めてわかりやすくします。  
駅前周辺の交通への影響、バスの利便性、一般車やタクシーの利便性、地域の活性化など、幅広い視点で総合的に考えて、以前もバス停があった南側に集めることにしました。
- 一般車とタクシーの乗降場は、送迎需要の多い北側が中心ですが、南側駅前広場にも整備します。送迎しやすい駅前広場にすることで、周辺の路上駐車が少なくなります。
- また、学園大通り前、駅舎前、南側の3箇所に広場を設け、日常の憩いの場や、イベントの場として使えるようになります。

# 折尾駅駅前広場 計画図

※この計画図は、今後の設計や施工の段階で一部変更の可能性あります。

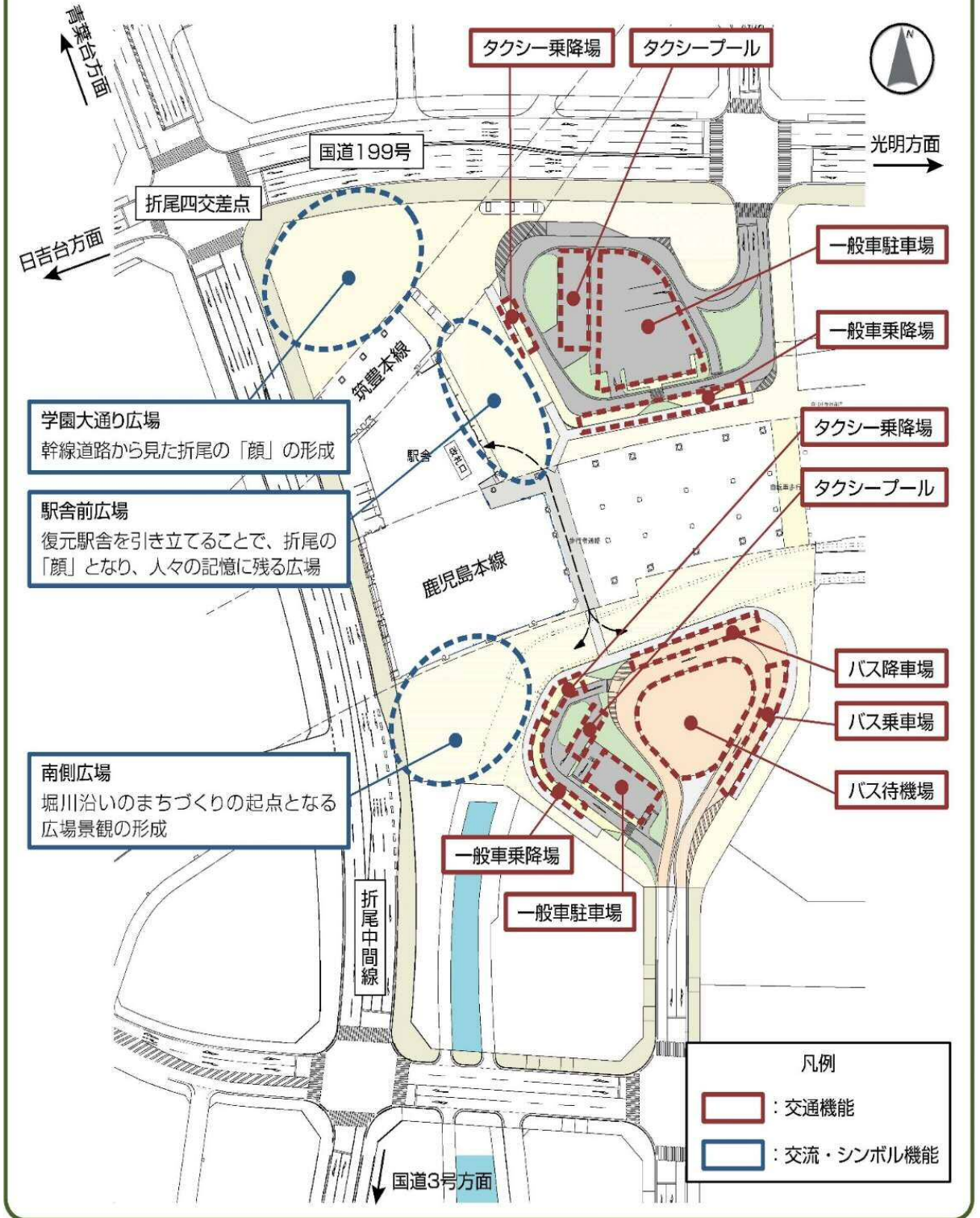


図-1 計画図

北側駅前広場イメージ



南側駅前広場イメージ



歩行者通路イメージ



南側駅前広場バス乗降場イメージ

(歩行者通路からの眺め)



※このイメージは、今後の設計や施工の段階で一部変更の可能性があります

図一２ 駅前広場のイメージ

Q2 駅前広場の計画はどのようなプロセスで検討したのですか。

A

計画の検討にあたっては、

- ・学識経験者や専門家からなる「新折尾駅周辺整備検討会」（平成 22 年から 6 回）
  - ・地域のまちづくり団体である「おりお未来 21 協議会」（平成 25 年から 21 回）
  - ・バス事業者やタクシー事業者（平成 29 年から 5 回）
  - ・障害福祉団体（平成 29 年度に 1 回）
- の皆様からご意見を伺いながら検討を進めてきました。

【まちづくり団体や交通事業者などの主な意見】

**(1) おりお未来 21 協議会（地域のまちづくり団体）**

- ・北側からの送迎者が非常に多い。北側の駅前広場にバスとタクシーと送迎車が入ると非常に混雑し路上駐車が増える。送迎しやすい駅前広場にしてほしい。
- ・バス乗場は 1 か所にまとめ、わかりやすい駅前広場にしてほしい。
- ・南側にバスを集約すれば、南側に人の往来が多くなり活性化につながる。
- ・バスを南側に集約するなら、北側の道路にバス停を設置してほしい。

**(2) 新折尾駅周辺整備検討会（学識経験者など）**

- ・バスを南側に集約すると、半数以上を占める北側からの路線が、混雑する折尾 4 丁目交差点での右左折が無くなり合理的であることがわかった。
- ・バスを南側に集約することでわかりやすい。良い機能分担である。

**(3) 北九州市障害福祉団体連絡協議会**

- ・地域の実情に合わせて、バス乗場を 1 か所にまとめ、利用しやすくわかりやすい駅広にしてほしい。

**(4) バス事業者（市交通局、西鉄バス北九州（株））**

- ・バス乗場は 1 か所にまとめた方が利用者にとってわかりやすい。
- ・バスと小型車のロータリーをできるだけ分けてほしい。

Q3 改札口は、どこにできますか。

A

- ・新しい駅舎は、鹿児島本線と筑豊本線の高架橋の間にできます。
- ・改札口は北側駅前広場に面し、鹿児島本線高架橋側の南側駅前広場に近い場所にできる予定です。

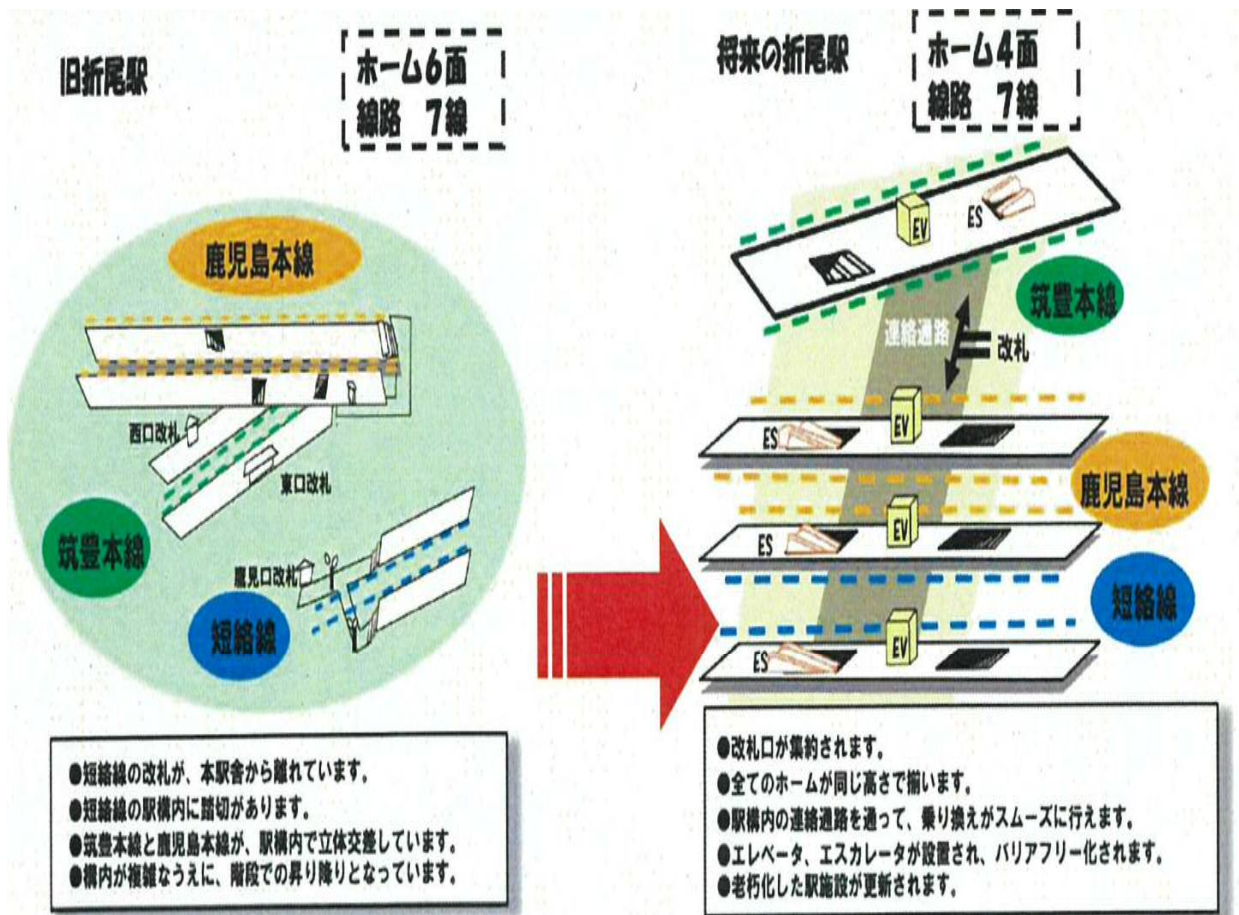
図-1 とあわせてご確認ください。



Q4 昔の折尾駅の改札口は、東口、西口、鷹見口の3カ所にありましたが、新しい改札口は、なぜ1カ所なのですか。

A

- 以前の折尾駅は、駅舎が2カ所に、改札口が3カ所に別れており、わかりにくく不便でした。(現在、工事に伴って、北口に1カ所増えて4カ所になっています。)
- 新しい折尾駅は、駅舎と改札口を1カ所に集約し、各ホームへ1本の通路で移動できるようになるので便利でわかりやすい駅になります。



図一3 改札口とホームの集約イメージ

Q5 なぜ、バス停は、南側駅前広場に集めるのですか。

A

- バス停を1か所に集めることで、初めて利用する人でもわかりやすくなります。
- 折尾駅へのバスのうち、半数以上を占める駅の北側方面からのバスが、混雑する折尾4丁目交差点で直進できるのでスムーズに運行できます。
- 駅の南側に人の流れができるので、高架下や南側駅前広場の周辺で土地活用が進み、魅力的でにぎわいのあるまちづくりが期待できます。
- また、魅力的な店ができれば、バスを待つ環境も良くなります。
- 北側は、一般車やタクシーなどがスムーズに利用でき、送迎しやすい駅前広場になります。
- なお、折尾駅バス停は、以前は鹿児島本線の南側の駅前広場にありました。現在のバス停は線路の高架化工事に伴い一時的に移転したものです。令和3年度から予定している駅前広場の工事に伴い、再び他の場所に移転する予定で、最終的には、以前バス停があった南側に戻る計画です。

Q6 バス停は公共交通機関であるバスの利便性を重視して、改札口に近い北側駅前広場に設置すべきではないですか。

A

- これまでに、学識経験者や専門家による検討会や、地域のまちづくり団体、バス事業者やタクシー事業者、障害福祉団体の皆様からご意見を伺いながら検討を進めてきました。
- 共通の意見は、「バス停は1か所にまとめて、わかりやすくしてほしい」というものでした。
- また、「バス停は北側に集めた方がよい」という意見もありました。一方で、「送迎のしやすい駅前広場にしてほしい」という意見もありました。
- 市としては、公共交通機関であるバスの利便性はもちろん重要と考えていますが、一般車やタクシーの利便性も重要と考えています。
- また、駅の南側に人の流れをつくることで、高架下や南側駅前広場の周りの土地活用を促進させ、まちづくりの目標である「住みやすく、魅力的で、にぎわいのあるまちづくり」を実現したいと考えています。
- このように、様々な方々のご意見をいただきながら、幅広い視点で総合的に

検討した結果、バス停を南側の駅前広場に集めることにしています。

Q7 鉄道とバスの乗り継ぎは、わかりやすい最短経路にすべきです。バス停は改札口に近い北側駅前広場に設置すべきではないですか。

A

- ・折尾駅の駅前広場では、改札口からバス停やタクシー乗場などの各種の乗り場まで、できるだけわかりやすく短い経路で結ぶ計画です。
- ・今後、設計や工事の各段階で障害福祉団体の意見も伺いながら、バリアフリー化に取り組んでいきます。

Q8 改札口から南側駅前広場のバス停までは、どのようなルートで行けるのですか。

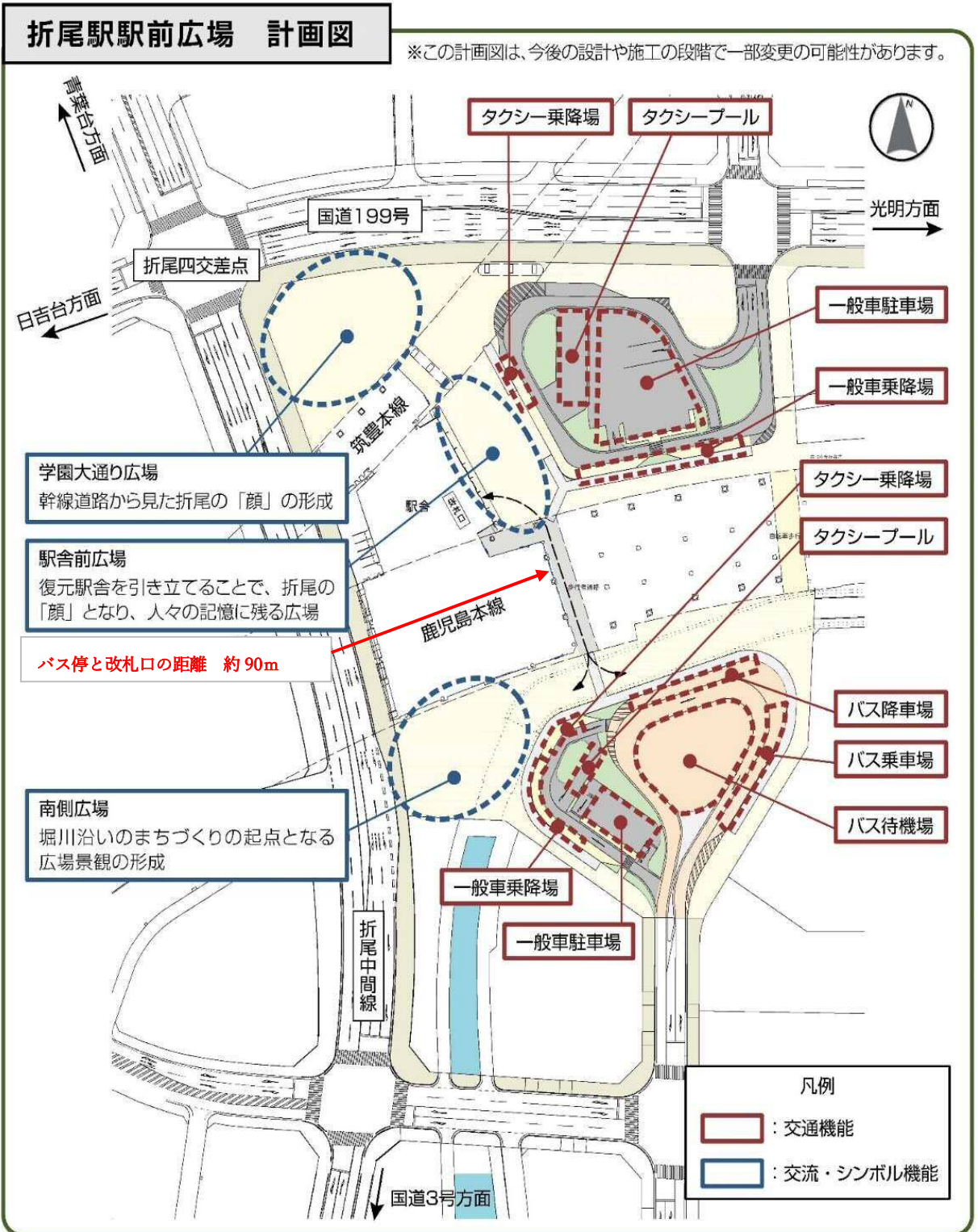
A

- ・現在、折尾駅周辺では、線路を高架化する工事を行っています。完成時には、改札口を出てすぐ右側の高架下に歩行者通路ができますのでそのルートを通して南側駅前広場のバス停まで行けます。
- 図一1と図一2をあわせてご確認ください。

Q9 バス停から改札口までの距離は何メートルですか。歩いて何分かかりますか。

- ・一番近いバス停から改札口まで約90mです。
- ・歩く速さは個人差がありますが、目安として秒速1mとすると、約1分30秒でバス停から改札口まで行けます。
- ・なお、市内で最も利用者が多いJR小倉駅の場合、バス停から改札口まで約150mです。折尾駅の次に利用者が多いJR黒崎駅の場合、バス停から改札口まで約150mです。
- ・ちなみに、小倉駅や黒崎駅は改札口からバス停まで、エレベーターやエスカレーターや階段を利用して移動する必要がありますが、折尾駅は改札口が1階にあり駅前広場に直接出ることができますので、エレベーターなどを利用する必要がありません。





図一4 バス停と改札口の距離

Q10 改札口とバス停の間の歩行者通路は、ラッシュ時でも安全に通れますか。

A

- 連絡通路についてはJR九州の駅施設の一部です。整備内容についてはこれまでもJR九州と協議していますが、安全に利用できる通路となるように今後も検討していきます。

Q11 バス停を北側駅前広場に集めれば、折尾駅西口バス停は必要ないのではないですか。

A

- 折尾駅西口バス停は、工事に伴って少し離れた場所に仮移転していますが、バス事業者の意向を踏まえて、当面の間、元の場所の周辺に戻して存続させる予定です。
- 最終的にどのバスを停車させるかはバス事業者の判断になります。

Q12 折尾駅西口バス停でバスが停まれば渋滞するのではないですか？

A

- 折尾駅周辺の幹線道路は、2車線から4車線に広がりますので、渋滞の心配はありません。

Q13 東側方面からのバスは遠回りになるので、北側駅前広場付近にバス停を新設してはどうですか。

A

- 折尾駅の北側の道路（国道199号）にバス停を新設すると利便性が高まるので、バス事業者や警察署などの関係者と協議、検討していきます。